

# FUSION™ D800RAID

8ドライブ搭載シリアルATAディスクアレイストレージシステム

## Drive Enclosure User's Guide

ライブエンクロージャ・ユーザガイド



For  
Windows

Creativity Stored Here™

SONNET™  
SIMPLY FAST™  
[www.sonnettech.com](http://www.sonnettech.com)

## Fusion D800RAIDエンクロージャの仕様と特徴



図 1

### 仕様

互換性	対応ホストアダプタがインストールされたMacおよびWindows、Linuxに対応
インターフェースコネクタ	2 x Infiniband マルチレーン
対応ドライブ	3 Gb/秒および1.5 Gb/秒 シリアルATA、7,200 RPM
電源	100~240V AC、50/60Hz
動作温度	0°C~35°C
寸法 (幅×奥×高)	14.9 x 45.4 x 32.7 cm
重量 (ドライブ搭載時)	13.5 kg

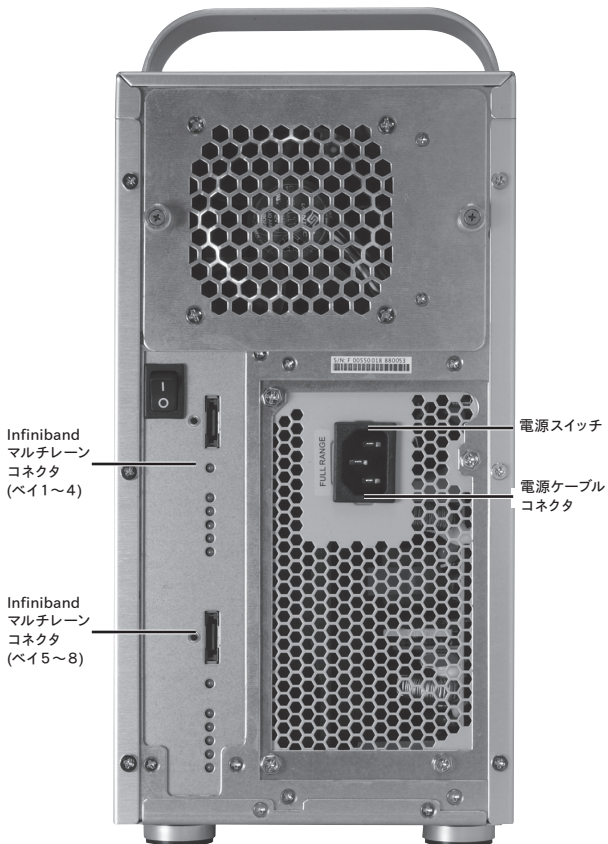


図 2

## 安全上の注意と免責事項

### 安全上の注意

作業を開始する前に必ずこの項をよくお読みください。この注意事項では、身体の安全を守り、本デバイスの損傷の可能性を最低限に抑えらるよう、製品の正しく安全な使用方法を説明しています。

### 警告

取り扱いを誤ると、感電やショート、火災、その他発生する可能性のある危険により死亡または重傷を負うおそれがありますので、常に以下の基本的な注意事項を守ってお使いください。以下の注意事項が挙げられますが、これに限定されるものではありません。

- ユーザが扱える部品の交換以外は、決してエンクロージャの分解や改造を試みないでください。正常に動作していないように思われる場合は、製品をお求めになられた正規代理店または販売店までお問い合わせください。
- エンクロージャやドライブトレイを落下させたり乱暴に扱うと故障の原因になりますので、取り扱いの際には充分ご注意ください。
- エンクロージャ内部に指や異物を差し込まないでください。特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。
- 本デバイスを雨にさらしたり、水の近くや隙間にこぼれる恐れのある液体が入っている容器の近くで使用したり、湿気が高いまたは濡れた状態で使用しないでください。
- 異臭や異音、煙などが本デバイスから生じた場合や誤ってデバイスを濡らしてしまった場合は、直ちに電源を切り、コンセントからプラグを抜いてください。
- 必ずこのマニュアルに記載の手順に従ってください。ユーザガイドに記載されていない情報が必要な場合は、製品をお求めになられた正規代理店または販売店までお問い合わせください。

### 免責事項

#### ドライブの使用について：

ソネットテクノロジーズ社では、下記に挙げるハードドライブをFusion D800RAIDストレージシステムに指定しています。特にRAIDグループの利用時におけるドライブの卓越したパフォーマンス性とエラーハンドリング性、そして信頼性でこのドライブは選ばれました。これらのドライブと一般的なハードドライブとの重要な違いの1つは、エラー時の対応の速さにあります。一般的なハードドライブではエラーのリカバリーに数分かかるのに対し、これらソネットにて検証済みのEnterprise/RAIDエディションのドライブではたった数秒のうちにリカバリーを試みます。RAIDコントローラカードとソフトウェアRAID構造では、ドライブにエラーが発生した際に、そのドライブがすぐにRAIDグループから切り離されてしまうため、ハードドライブメーカーでは、RAIDストレージシステムで一般的なハードドライブの使用を推奨していません。ソネットにて検証済みのハードドライブは、ストレージの信頼性を左右する耐振動性能についても強化されています。システムの信頼性およびパフォーマンス性を確保するため、Fusionストレージシステム製品のご利用には、Enterprise/RAIDエディションのハードドライブまたは厳選されたソネット検証済みのデスクトップ用ハードドライブでの構築をお勧めします。一般的なハードドライブはサポートされていないものもあり、システムの信頼性と性能が低下する可能性があります。Sonnetウェブサイトにて、**検証済みハードドライブの最新情報を確認してください。**

### 免責事項 (つづき)

#### 500GB モデル

- Hitachi製Deskstar E7K500 (製品型番 HDS725050KLA360)
- Hitachi製Deskstar E7K1000 (製品型番 HDE721050SLA330)
- Hitachi製Ultrastar A7K1000 (製品型番 HUA721050KLA330)
- Seagate製 Barracuda ES (製品型番 ST3500630NS)
- Seagate製 Barracuda ES.2 (製品型番 ST3500320NS) <sup>(1)</sup>
- Western Digital製 RE3 Enterprise (製品型番 WD5002ABYS)

#### 750GBモデル

- Hitachi製Deskstar E7K1000 (製品型番 HDE721075SLA300)
- Hitachi製Ultrastar A7K1000 (製品型番 HUA721075KLA330)
- Seagate製 Barracuda ES (製品型番 ST3750640NS)
- Seagate製 Barracuda ES.2 (製品型番 ST3750330NS) <sup>(1)</sup>

#### 1TBモデル

- Hitachi製Deskstar E7K1000 (製品型番 HDE721010SLA330)
- Hitachi製Ultrastar A7K1000 (製品型番 HUA721010KLA330)
- Seagate製 Barracuda ES.2 (製品型番 ST31000340NS) <sup>(1)</sup>
- Hitachi製Deskstar E7K1000 (製品型番 HDE721010SLA330)

#### 1.5TBモデル

- Seagate製 Barracuda 7200.11 (製品型番 ST31500341AS) <sup>(2)</sup>

#### 2TBモデル

- Western Digital製 RE4-GP (製品型番 WD2002FYPS)

下記のEnterprise/RAIDエディションのドライブは、未解決の技術的な問題が確認されています。現時点においてFusion D800RAIDに使用しないようにしてください。

- 500GB Samsung製 Spinpoint F RAID (製品型番 E502IJ)
- 750 GB Samsung製 Spinpoint F RAID (製品型番 HE753LJ)
- 1TB Samsung製 Spinpoint F RAID (製品型番 HE103UJ)

- (1) ファームウェアバージョン SN06 以降が与えられたSeagate製 ES.2ドライブにのみ対応。ファームウェアバージョンがSN03、SN04、SN05のSeagate製 ES.2は未対応です。
- (2) Barracuda製7200.11、1.5TBドライブでファームウェアバージョンがSD1B、CC1H の場合のみ対応しています。

## ドライブのインストールとエンクロージャのセットアップ

1. Fusionドライブエンクロージャとドライブモジュールのパッケージを外し、エンクロージャに接続するコンピュータに近い位置へエンクロージャとドライブモジュールを置きます。



**警告：**コンピュータ製品を取り扱う際は、部品が静電気により破損しないよう細心の注意を払ってください。また、カーペットの上など静電気の起こりやすい場所での作業は避けてください。ハードドライブ類は端を持つようにし、接続部分やピンなどには触れないようご注意ください。

2. ドライブモジュールを1基は図示、レバーリリースボタンをレバーが飛び出るところまで押します (図3)。



**警告：**ドライブトレイをエンクロージャに挿入する際に、**レバーを無理に押しつけて閉じないでください。**レバーがすんなりと閉まらない場合はトレイをいったん取り出してから再度挿入し、レバーをもう一度押してみてください。

3. ドライブモジュールをエンクロージャに正しい向きに挿入し、カチッと音がするところまで押し入れてください。レバーを押し、エンクロージャ内にあるドライブモジュールを固定します (図4)。
4. 残りのドライブモジュールについて手順2～3を繰り返してください。

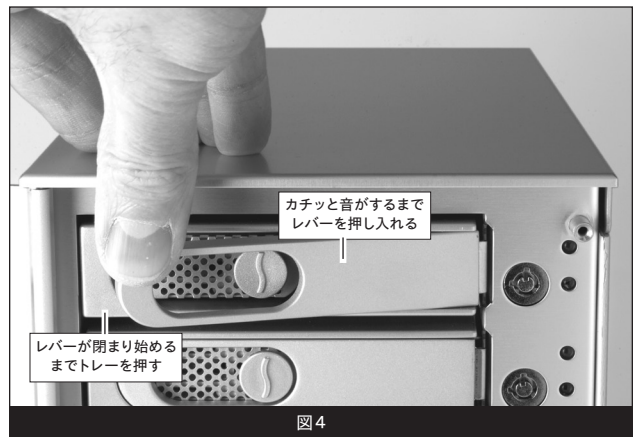
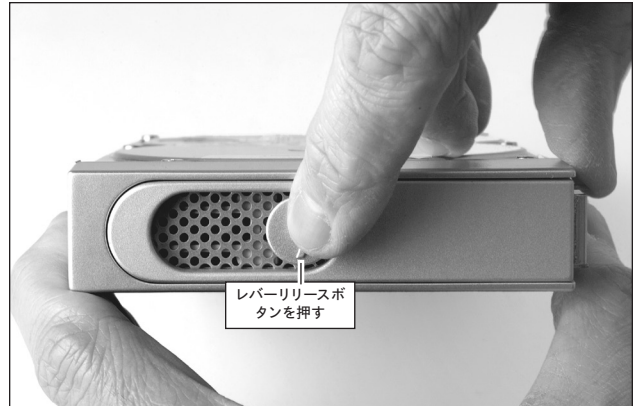


図4

## Fusion D800RAIDドライブエンクロージャとSonnet RAIDコントローラを接続する

この項では、Fusion D800RAIDドライブエンクロージャをSonnet RAIDコントローラカードに接続する手順を説明しています。

1. 付属のデータケーブルのInfiniband側 (つまみねじのついている方) をエンクロージャのInfinibandポートに接続してください。**つまみネジを締めてコネクタを固定してください (図5)。**本書ではケーブルを識別するため、エンクロージャの上側のポートに接続されているケーブルを「Bケーブル」、下側のポートに接続されているケーブルを「Aケーブル」とします。
2. Aケーブルのmini SAS側を「A」と表示されているSonnet RAIDコントローラカードのmini SASポートに接続します。コネクタがしっかりと接続されていることを確認してください (図6)。「Bケーブル」も同様に接続してください。
3. Fusion D800RAIDエンクロージャに付属の電源ケーブルをアースされているコンセントまたは電源コードに接続します。**ケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。**
4. エンクロージャの背面にある電源スイッチを「ON」に入れてからコンピュータの電源を入れてください。

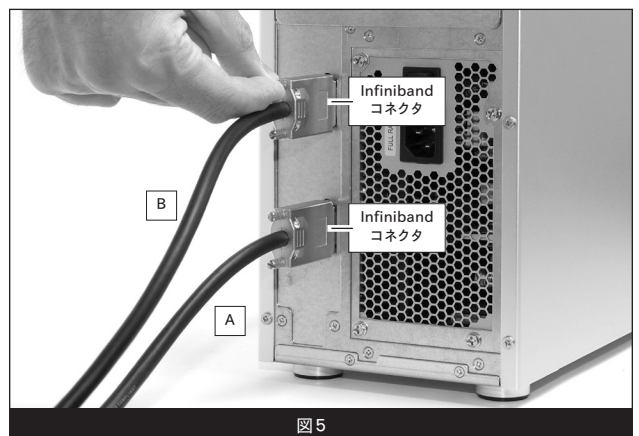


図5

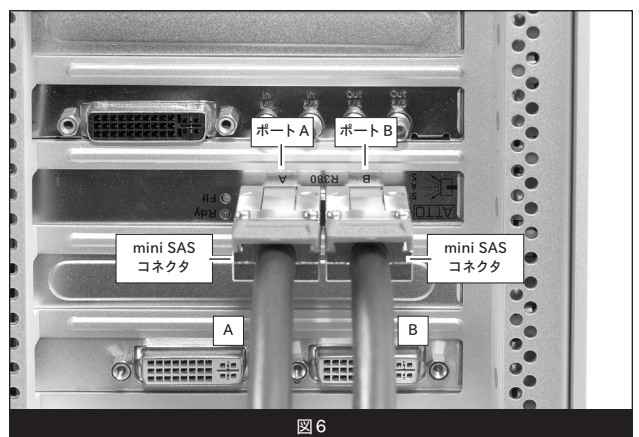


図6

## 製品の使用時に役に立つ情報とその他追加情報

### 役立つ情報

この項では、Fusion D800RAIDエンクロージャの使用時に役立つ一般的な情報を記載しています。

#### Fusion D800RAIDエンクロージャとの接続に、付属のカード以外のSonnet RAIDコントローラを使用する場合：

Fusion D800RAIDエンクロージャは付属されているSonnet RAIDコントローラとの使用に最適化されています。Fusion D800RAIDエンクロージャを付属していたカード以外のカードと接続するには、カードのファームウェアが最新バージョンでない場合があるため、まずエンクロージャとカードを最適化します。

1. ATTO Configuration Toolを起動します。ウィンドウの左側にある「Device Listing」のデバイスツリーを開き、「ExpressSAS R380」が表示されるようにExpressSAS R380をクリックしてください。
2. アプリケーションメニューより「RAID management > Auto Map」を選択してください。

#### ホットスワップドライブ：

Macの場合、Fusion D800RAIDはドライブのホットスワップ\*をサポートしますので、コンピュータの電源を落とすことなくドライブを入れ替えることができます。これはドライブをいつでも取り外せるということではありません。作業中にデータを損失しないよう必ず以下の手順に従ってください。

- ドライブモジュールを取り外す前に、必ずドライブのボリュームを取り出し（接続解除、アンマウント、ディスマウント）してください。取り出したいドライブのアイコンをDockの「取り出し」アイコンにドラッグしてから、ドライブを取り外してください。
- RAIDグループに組み込まれているドライブのモジュールをFusion D800RAIDから取り外す場合は、モジュールを再度挿入する前にいったんエンクロージャの電源を切ってください。モジュールを取り付けてから再度エンクロージャの電源を入れると、RAIDグループが正しくマウントされます。

\* WindowsおよびLinuxは、SATAホストコントローラカードがインストールされたデスクトップPCまたはデスクトップサーバに接続されているドライブのホットスワップをサポートしません。

#### 接続について：

コンピュータ上にドライブやボリュームが表示されない場合、ドライブがRAIDセットで構成されている際にドライブが見つかりませんというエラーメッセージが表示された場合は、コネクタやドライブモジュールがきちんと接続されていないことが原因である場合があります。

- データケーブルをいったん取り外し、ケーブルのRAIDコントローラ側がカチッと音がして正しく接続されたこと、またエンクロージャ側のネジがしっかりと締まっていることを確認してから再度接続してください。
- エンクロージャ前部のドライブ接続LEDからドライブの接続状態を確認してください。LEDが点滅していないベイがありましたら、そのモジュールをいったん取り出して、再度装着してください。

#### カスタマーサービスへのお問い合わせ

本製品に関するテクニカルサポートについては、お買い上げいただいた販売店までお問い合わせください。お問い合わせいただく前に、Sonnetのウェブサイト ([www.sonnettech.com/jp](http://www.sonnettech.com/jp)) から最新の関連情報やサポートファイルがあるか確認し、このユーザガイドをもう一度よくお読みください。

